

働くお母さん × 市議会

今回は、揃って3人のお子さんをもち、仕事と家事、育児をパワフルにこなす働くお母さんに、日頃の悩みや苦勞、家族のことなどについて本音を語っていただきました。



名前と顔が一致する議員さんは少ないですね。

〈悩みや苦勞はありますか〉
 ■私は遅くまで仕事、子どもたちは遅い事、なかなかゆくり接することができないです。 ■仕事をいか計画的に、短時間こなしていくかです。 ■仕事がいっぱいいっぱい、生活に余裕がなくなっています。 ■疲れているときの自分の気持ちの処理をどうするか悩みます。 ■仕事の都合で、こどもを保護者や授業参観に行

けないんです。 ■子育てと同時にこれらの親の介護が心配です。
 〈家事はどうしていますか〉
 ■夫と同じ仕事をしているで、仕事の日の家事の日は決めて、全部かかっています。 ■家族を雇って、だれが何をやるか決めていますが、子どもは年齢が上がるにつれ勉強や部活で忙しくなって、やらなくなりますがね

■最初はあまりやらなかった夫も、掃除や洗濯、買い物などやってくれるようになりました。 ■上のお姉ちゃんはお母さんという感じで、よくやってくれます。
 〈ごさえりなされてはいますか〉
 ■以前ファミリーサポートを利用したとき、前もって連絡をしておかないといけない、



急にはお預りする事ができなかったんです。 ■他の市町村では、預保育をやっているところがあるらしくて、うやまいなと思います。 ■学童は以前に比べよく使います。 ■高学年になってもここで同年代の友達と遊べるというですね

〈議会や議員についてどう思いますか〉
 ■議会の存在がなくて、どこで何をやっているかピンとないですね。 ■名前と顔が一致する議員さんは少ないですね。 ■モカイの時間は、地域に密着した仕事柄、情報を集めるために目を通すようにしています。 ■新聞もとっていないし、駅や市役所へも行かないので、モカイの時間を入手する方法がありません。

〈働きつつ子育ても楽しむために必要なことは〉
 ■仕事量を減らして、時間に余裕が欲しいです。 ■今の職場は人数が少なくて休みにくい状況になってるので、フレキシブルな体制が整ってほしいです。 ■男性ももっと育児休暇を取りやすい環境があるといいですね。 ■大切なのは、働く女性への周囲の理解ですね。

12月定例会議 議案審議

あきる野市の
こんなことが決まりました。

12月定例会議 会期17日 11月29日～12月15日

12月定例会議の議案は

諮問……………1件

市長提出議案…23件

陳情……………1件

議員提出議案…2件

計27件

今号ではこの中からPick up

※この欄に掲載されている議案は、あきる野市ホームページに掲載しているものと一致しない場合があります。

Pick up 1 選挙運動の公費負担限度額が引き上げられます。

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に合わせ、市議会議員及び市長の選挙における公費負担限度額を引き上げます。主な内容は、レンタカーやガソリン代、ピラやポスター作成の単価などです。

こんな意見が出ました。

●選挙費用については、お金がかからない選挙にすることが必要だが、今回の改正は、消費税率5%から8%に上がった3%分を上乗せすることに伴って引き上げられるので、やむを得ないと思える。

●単に国の改正に準じて限度額を決めるのではなく、地方自治の精神に基づき、あきる野市独自の判断で、少しでも公費負担を減らす努力をすべき。



Pick up 3 議員定数削減の条例改正案は否決されました。

議員定数を現行の21人から2人削減し19人とする提案です。反対する議員が多かったため否決されました。

こんな意見が出ました。

●削減は、行政のチェック機能を弱め、市民の不利益につながる。

●もつ、議会全体で調査検討を行い、議決を反して結論を得るものではないか。

●議員の意識改革と行動力があれば、定数を2人削減しても民意を反映することはできる。定数を7人削減し14人とする。ことを言い続けているが、今回は2人でも削減したほうが良いと思う。



聞いてみたいなこと

一般的な質問



一般的な質問

一般質問とは？
皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20名 質問 41項目

「各議員の各の質問の趣旨を把握し、市議会から本会議開催後、議決し、答へたい。公開は市の月報会議まで。」

福祉

子どもの生活支援に



たはたあずみ

Q 小学校・中学校の就学援助の入学準備金支給について支給時期を定める検討は行われたか。
A 入学前年度の支給が保護者の負担軽減につながる。様々な課題があるため、今年度から前年度3月に給する王子市の実施例、そこで生じた課題を参考に、今度も検討したい。

Q 先行している八王子市は、入学準備金申請の案内の手紙も、とてもわかりやすい。だれが読んでわかるように変える機会には？
A 以前からわかりやすい案内

Q 他に進学学習の推進、部活動のありかたについて質問したい。
A 見直しを求める立場で立候補した方の得票は4票、推進の立場の方々の得票の総計は138票。投票率は約67%である。



Q 経済的な支援策としての食の提供だけでなく、子どもの居場所づくりや、大人を含めた地域の交流により子どもたちを地域全体で支える取り組みの一つと考え、8月の学習支援と食事を提供する事業も参考に、支援や連携方法などについて研究したい。

福祉

少子化対策における不妊治療支援について



田中 千代子

総務省によると、15歳未満の子どもの推計人口は、昨年より15万人少ない1605万人で過去最少を更新している。そのような中、晩婚化を背景に不妊に悩む夫婦が増え、子どもを願う夫婦への不妊治療支援が求められている。国の助成制度が拡充されたことに加え、独自の助成を行っている自治体も広がっている。あきる野市民の特定不妊治療の助成状況は、特定不妊治療の助成事業は、国の制度で、都道府県が実施しており、平成27年度にあきる野市民で助成を受けた件数は、延べ91件である。

Q 不妊治療の相談や情報提供の考えは。
A 不妊に悩む方に配慮した相談体制は重要と認識している。助産師や保健師による

Q 国の助成に市独自の助成を加える考えは。
A 都道府県の事業に上乗せする方法で、助成事業の実施をすすめる町村が増えている。少子化対策の一環として、不妊に悩む方への支援は大変重要であると考えており、具体的な支援の方法について検討を進めている。

Q 他に婚活支援について質問したい。
A 婚活支援については、



都市計画

武蔵引田駅北口土地区画整理事業について



堀江 武史

6月定例会議において災害に強いまちづくりについて質問した。その中で、土地区画整理事業の進捗状況及び今後の予定を伺った。平成28年3月7日に、事業計画が決定し、事業が着手された。その後、土地区画整理審議会の進捗も進められた。その後、土地区画整理審議会の進捗も進められた。その後、土地区画整理審議会の進捗も進められた。

Q 居住者の負担軽減策は。条件次第では、別の場所以に新たな家を新設し、直接移転できる住まいまじの検討を進めている。一方、土地の活用や税金対策の専門窓口を設けることを検討している。

Q 企業誘致の動向は。
A 本市区への進出について、検討に値する、興味がある、積極的意向を示す企業が複数ある。



Q&A

市の

06 市の時間

07 市の時間

政策

安全・安心のまちづくりについて



松原 敬雄

昨今、子育てと介護の問題が市民生活の大きな課題となっている。国や多くの自治体では、親、子、孫の多世代同居あるいは近居に、引越し費用や住宅取得、リフォームなどに助成する支援事業に取り組んでいる。本市においても「仮称多世代同居・近居住宅支援事業」に取り組むこととする。

Q 子育てや高齢者支援があるいは住居促進など多面性を有するが、本市の担当部署は、ま・ひと・しごと創生総合戦略推進の観点から重要な課題。企画政策課が窓口になる。

Q 同居・近居住宅への助成については、本市の見解は。
A 当市は26市の中で持ち家率が一番高く、平均世帯人員も26市で一番多い。核家族は26番目まで少ない。その特徴を踏まえて十分検討したい。



農業

獣害について



中嶋 博幸

今年度は特に獣害がひどく、耕作意欲を失ってしまっているのではないかと、昨年に比べて多いのか。捕獲数、被害数とも昨年より多い状況にある。

Q 特にイノシシの被害がひどく、駆除数を増やす必要がある。駆除数を増やす方法として、ワナや銃により捕獲しているが、イノシシは利口でワナでは効果に限界がある。銃による駆除を増やしてほしい。しかし小和田、留原、高尾、網代などで、近隣の市との申合せで数年前より銃での駆除を控えている。事由を説明し、再開してほしい。いかにかが、被害が増えている現状も踏まえ、申合せしている行政とよく協議していく。また、新たな試験的取り組みとしてドローンによるイノシシや猿などの生息調査と超音波による追い払いの実証実験なども進めていく。猟友会、農と生保光を守り隊と更なる連携強化を図りながら獣害対策を進めるとともに、電気柵の更新なども実施していく。



教育

子育てしやすいまちについて



村野 栄一

庁内の福祉部局と教育委員会などで組織する子ども未来応援プロジェクトチームが、子どもの総合的な支援について議論を進めている。Cと思うが、具体的な方向性はない。

Q 学習支援事業計画の将来に方向性について、現時点ではどうなっているか。
A 学習支援事業計画の将来に方向性について、現時点ではどうなっているか。

Q 今年度は、学習支援事業を試行的に9月から毎週土曜日に小学校、6年生及び中学校1年生を対象に実施したところ、子どもたちや保護者から大変好評で、継続実施を望む声が多く寄せられていることから、来年度も事業の充実を図りながら実施していきたい。



Q&A

市の

08 市の時間

福祉

養育家庭(ほっとファミリー)について



増嶋 俊宏

様々な理由で親と一緒に暮らすことができない子どもたちを、養育家庭を目的として、より家庭に近い環境で養育している家庭を養育家庭といい、本市にもそうした家庭がある。養育家庭の社会的意義は大きく、特徴の配慮と支援が必要と考える。

Q 立川児童相談所と市及び養育家庭の二者で、課題解決や意見交換をする場を持っていないか。
A 子ども家庭支援センターに養育家庭の要望を相談していただければ可能である。

Q 立川児童相談所管内では、平成25年度、26年度とも46家庭で、27年度は47家庭である。
A 毎年、養育家庭発表会を開催しているが、参加者数の推移と内訳は、参加者は平成25年度が101人、26年度が50人、27年度が47人、今年度は97人。今年度の内訳は、民生児童委員が29人、養育家庭が5人、



09 市の時間

安心できる医療、介護



山根 トミキ

Q 4月より要支援1・2の訪問介護の生活援助について、市が実施する研修を協議した人がサービス提供者となるというのだが、何時間程度の研修を受けるのか。

A 18時間程度で3日間の研修内容を検討している。

Q 今まで通り専門員でサービスを行うべきと思うが、生活援助の他に入浴介助などが必要な人には今まで通りのサービスを提供する。

A 予防の訪問介護を受けている人の8割が総合事業に移行し、緩和したサービスを受けるとも問題はない。



あきる野市

Q 義務教育就学児の子どもの医療費助成制度の所得制限の撤廃を望むべきと思うが、都道府県単位の広域連合で運営し、都内の被保険者が一律に負担し、サービスを受けるべきか。

A 市独自で、市独自の経費策を講ずるべきか。

ふるさと納税について



天野 正昭

Q 本市のふるさと納税は今年産出過多となった。急急改善の必要がある。

A 本市のふるさと納税サイトでの発信力を強化した方がよい。自治体として集めている自治体のホームページ等を見たり、視覚的に訴える部分が重要と感じるので、見せ方を考えたい。

Q 返礼品として、注目を集めるために農産品やローンを追加できないか。

A 国からは寄附額に対して高額の返礼品は好ましくないとの通知が来ている。農産品については、生産者や業者と調整を図り、ドローンについては、ふるさと納税の趣旨を踏まえつつ、対応を検討したい。



あきる野市

Q 他に観光、特に秋川について質問したい。

A 他に観光、特に秋川について質問したい。

いきいきセンターの運営について



戸沢 弘昭

Q いきいきセンターの運営は1月〜3月の3か月間を休業している。恒常的に利用している高齢者から通年営業し、欲しいとの切実な声寄せられている。

A この施設は市民の健康、長寿の願いに応えたいという思いで、市の健康施策として充実させることを求めるがいかか。

Q 市内には近隣市町村のでも充実しているという評価の高水温水プールを3施設増やすについては、他の2施設の利用で補えようとする。

A 他に（仮称）温泉スタンプラリーについて、横田基地へのオスプレイ配備撤回について質問したい。



あきる野市

Q 多摩26市中19市で、出前講座が行われている。目的は、市民との信頼関係を築き、政策への理解支持、協力を



あきる野市

市民と協働のまちづくり



辻 よし子

Q 公文書は、市政の意思決定の過程を知る上で極めて貴重な情報である。各公文書を保管すべき年数は、文書分類表に記されているが、適切かどうか疑問に思える。

A 例もある。見直しが必要ではないが、

Q 例えは水質異常事件事務の文書は3年保存だが、過去の事例を参考にすることも必要である。その必要性を踏まえて保存年数を再検討していただきたい。土地画整理事業の書類は保管期間を超えて任意に保管していた事実があった。今後は文書の置かれていた状況を適宜判断して、文書分類表の修正の検討をしたい。

Q 多摩26市中19市で、出前講座が行われている。目的は、市民との信頼関係を築き、政策への理解支持、協力を



あきる野市

国民健康保険制度改正



細谷 功

Q 国民健康保険は平成30年度に都と共同運営になる。そこで、この制度改正に伴う対応について以下伺う。

A 医療費の削減について、今の対策は、

Q ある野市の徴収率は26市で常に上位に位置しているが、今後の徴収率改善の対策は、

A 秋川流域の地域資源を発信する観光拠点の機能を持つ「仮称 秋川流域総合センター」を整備する法として、民間力を用いることとしますが、公募に応じた1社から超過の申し出があり、現在に至っている。



あきる野市

Q 他にインシシ等の対応について質問したい。

A 他にインシシ等の対応について質問したい。

武蔵五日市駅前市有地



伊藤 理男

Q 当該市有地は平成4年に当時の五日市町が取得しているが、具体的な土地利用が定められないままである。

A 平成23年に報告がまとめられたが、進捗していない原因は何か。

Q あきる野商工会の、いりどり屋、観光協会、五日市ファーマーズセンターの一部、認定保育園、地元事業者の希望者などを取り込んだ施設の可能性を、絞り込み込みを認める意向はないか。

A 「仮称」秋川流域総合センターという位置づけのもとで、複合機能の中に議員提案の機能を入れることは、可能と考える。



あきる野市

木育の推進について



黒川 健二

Q 平成26年の12月定例会で取り上げた木育について、その後の市の取り組み状況や、今後の展開は、

A 市内の保育施設や子育てひろばなど31か所が多摩産材で作った木製玩具を導入し、木育やウッドスタートにつながる環境整備を図った。

Q 木育を進めるために、東京おちや美術館と連携し、ある野ルビエ2階の子育て支援拠点のオープンに合わせた木育イベントの開催はできないか。

A 今後は、東京おちや美術館などと、木育を推進する団体を取り組むことを参考にしながら、木育の推進に努め、オンラインイベントについては検討したい。



あきる野市

Q 開業医誘致を進める考えはあるか。現時点では考えていない。



あきる野市

安定した医療確保



荒井 剛

Q 2007年頃から医師不足が課題として取り上げられるようになった。多摩地区も人口の割に医療従事者の少ない地域とされている。安定した医療を受けられる環境を整備することは重要と考える。

A 公立阿佐野医療センター勤務を返済免除要件とした、本市独自の医師修学資金貸付と制度を検討できている。

Q 医師数は西多摩保健医療圏全体で、人口10万人当たり202.5人となっているが、全国平均の266.3人より少ない状況となっている。高度急性期や回復期を中心とした病床機能の分化と医師等の人材確保が必要であると認識している。

A 医師確保の一つとして情報収集等を行い、阿佐野医療センターに情報提供するのと、日の出町や檜原村と情報を共有化していく。

Q 開業医誘致を進める考えはあるか。現時点では考えていない。



あきる野市

市の未来について



中村のりひと

Q 人口減少高齢化社会の影響により税収減、扶助費の増から市の財政改善はまますずかしいものとなっていく。

A 財政を投資して武蔵引田駅北口地区画整理事業を実施することによる市民に対するメリット・デメリットは、

Q 人口減少を生かした企業進出による市の産業基盤の底上げや、新たな雇用創出、定住人口の増加、新たな市街地が形成され地区内の交流人口の増加が期待でき、市勢増につながる。本地区では狭い道路が多い中、現

AQ この事業の責任者は、市長である。



Q 市民約8万人、十人の全体最適を考えた事業なのか。

A 地区内の受益のみにとまらず、広く市民が受益を受けることが可能な事業。

Q 市況の悪化による自主避難した子どもたちの状況は、小中学生は4名いる。いじめの報告は受けていない。

A 生徒間はもちろん、学校、親子の三者間で話し合っ



※財務4表
貸借対照表、行政コスト計算書、経費変動計算書
及び資産収支計算書

市有財産について



清水 晃

市の行政財産・普通財産の活用を考えた今後の方向性について以下。→
AQ 公共施設等総合管理計画に

Q 財産(資産)と借金(負債)のバランスシートは、貸借対照表や行政コスト計算書は、作れば経営改善する

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

教育 学校教育について



台川 哲夫

本市にはいじめ撲滅三原則があり、いじめ防止対策推進法例も制定された。

Q 平成27年度後半からいじめ、不登校の状況は、

A いじめは27年度後半7件、28年度は10月まで4件、いずれも解決している。不登校は現時点で57人、学校復帰に向けて取り組んでいる。

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。



Q 教育長は就任以来どのような案件について、被害及び加害児童・生徒同士の関係は良好との報告を受けている。

A 保護者や学校使用等を通じて、家庭でも取り組む姿勢ができればと考えている。

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。



※SNS(ソーシャルネットワークサービス)人と人とのつながりを促進・支援する、Webサイト及びネットサービス、LINE、Facebook、ツイッターなど。

市有財産について



清水 晃

市の行政財産・普通財産の活用を考えた今後の方向性について以下。→
AQ 公共施設等総合管理計画に

Q 財産(資産)と借金(負債)のバランスシートは、貸借対照表や行政コスト計算書は、作れば経営改善する

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

Q&A 市の

Topics No.1

議会アンケート集計結果をお知らせします

あきる野市議会では、昨年9月にあきる野市議会と議会だより「ギカイの時間」についてのアンケート調査を実施し、計862名の協力をいただきました。集計結果の一部をご紹介します。

●「ギカイの時間」(年4回発行)を読んでいますか？

1. 読んでいる	21%
2. 読むこともある	36%
3. 読んでいない	21%
4. 存在を知らない	22%

読んでいる方が半数を超えた一方で、「存在を知らない」が4分の1を占め、まだ「ギカイの時間」の周知は十分ではありません。また、存在を知っていても「読んでいない」方も決して少なくはありませんでした。「読みたい」と思ってもらえるように工夫していきます。

●「ギカイの時間」の情報量は？

1. 多すぎる	2%
2. ちょうどいい	74%
3. もの足りない	24%

読みやすくする目的で内容をしぼっているため、「多すぎる」という回答は少数で、4分の3は「ちょうどいい」との回答でした。4分の1を占める「もの足りない」と感じる方も満足してもらえない紙面づくりと、ホームページなど他の手段での「ギカイの時間」を補う、より詳細な情報提供が今後の課題です。

●読まない理由は何ですか？

1. 手に入らない	38%
2. つまらない	11%
3. 関心がない	37%
4. その他	14%

「手に入らない」「関心がない」がそれぞれ3分の1を占めました。市議会に関心を持ってもらうためにも、「ギカイの時間」が手に入りやすい環境が必要です。多くはありませんが「つまらない」を少しでも減らす努力をしています。

お寄せいただいた回答・ご意見等を参考に、より一層市民にわかりやすく身近な市議会・「ギカイの時間」にできるよう、議会全体で取り組んでまいります。なお、詳しいアンケート集計結果は今後ホームページに掲載していきます。ご回答くださった皆様、ありがとうございます。

あきる野市の農・林・商工業の振興について



野村 正夫

Q 秋川ファーマーズセンターの建て替え計画はあるのか。建て替えるか、改善するかのA等という含意形成をしてきた。期間は平成32年から33年頃と想っている。

A 平成28年度から5年間の事業費、平成29年度の実施に向けハイパワースの設備希望家5軒、農機具等の購入希望農家2軒の事業内容について検討中。今後実地調査に基づきチームを編成し、条件である経営力強化計画の策定等の支援に努める。

Q 農業生産者に農業や肥料など消耗品に対する補助金制度を考えないか。

A いるような推移を見ていきたい。どのような情勢になるか見守りたい。



Q 都市農業活性化支援事業の今後の進捗状況は。

A 市長はあきる野市内の商工業の事業所数と年間の売上高を把握しているか。

Q 市況の悪化による自主避難した子どもたちの状況は、小中学生は4名いる。いじめの報告は受けていない。

A 生徒間はもちろん、学校、親子の三者間で話し合っ

Q 武蔵引田駅北口土地区画整理事業について

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

Q 計画の内容はわかりやすく市民に公開すべきであるが、いかがか。

A 本事業は、平成28年3月1日付けで東京都の事業計画認可を受けて、3月7日付けで市が事業計画決定を行い、スタートした。開始に伴い、広報あきる野やホームページでの掲載により、事業費を含めた概要や土地区画整理事業の仕組などを広く伝えるなど、市民への情報提供に努めてきた。市として、今後も、事業の節目に合わせて、必要に応じて市民への情報提供に努めていく。

Q&A 市の

「あきる野市議会だより」ティザー版のご案内

視覚に障がいのある方等に、市議会の活動状況を伝えるため、ギカイの時間」の内容をCDに音声を収録したティザー版を発行しています。ご希望の方は、あきる野市社会福祉協議会あきる野ボランティア・市民活動センターへお問い合わせください。(高年層の議会だよりもあります)

TEL:050-0033

訂正とお詫び
第85号のP7で「衛生費がん検診事業健康診断委託料の8億円は、8000万円の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

報告とお詫び
12月定例会議での中村のりひと議員の一般質問において、新聞記事等のメディア名・日付等の出典を記載せず、引用文の表記を怠るということがありました。後日、本人もそれを認め、本会議で謝罪いたしました。今後、このようなことがないよう議会として十分気を付けてまいります。

新委員長が決まりました
広報広聴委員会の委員長に、田中千代子委員が就任しました。

あきる野市議会活動レポート

西多摩地区議員研修会



10月31日に西多摩地区議長会議員研修会が日の出グリーンプラザで開催され、多くの議員が参加しました。「地域包括ケアシステムについて」というテーマで講演が行われました。

議会運営委員会 行政視察



議会運営委員会では11月7日から8日まで、三重県四日市市議会と滋賀県大津市議会を訪れ、議会改革、議会基本条例、通年議会、災害時の議会対応などについて視察しました。

がん対策推進議員連盟 視察



本市議員が所属する秋川流域がん対策推進議員連盟では、11月18日に国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所を訪れ、重粒子線がん治療の最先端施設を視察しました。

環境建設委員会 市内視察



環境建設委員会では、12月7日に現地視察を行い、雨間地区東郷前用水路の斜面の崩落危険区域の現状を確認しました。

No.2

長期欠席の議員の報酬等を減らす条例を制定しました。

議員が市議会の会議等を長期に欠席した場合、議員報酬及び期末手当を減額することを定めた「あきる野市議会議員の議員報酬等の特別に関する条例」を制定しました。

Q 市議会の会議等とは？
A 本会議、委員活動及び協議の場を指します。

Q 議員報酬とは？
A 議員報酬は月々定額支給されるもので、そのほか、期末手当として5割カットされます。

Q 期末手当はどおりですか？
A 期末手当の基準日(6月1日及び12月1日)の前6か月以内の期間に、議員報酬を減額された月がある場合の期末手当について、割合に応じて減額されます。

Q 適用除外はありますか？
A 公務上の災害や出産の他、議長がやむを得ないと認められるについては適用除外となります。

議会活動をしない期間	削減率
90日を超え180日以下であるとき	20%
180日を超え365日以下であるとき	30%
365日を超えたとき	50%

No.3

災害発生時の議会対応について決めました。

総務委員会で検討してきた「あきる野市議会における災害発生時の対応要領」を全員協議会で承認し、制定しました。これは、大規模な災害が発生し、市に「災害対策本部」が設置された場合、市議会に「災害対策本部」を設置し、市対策本部と連携を図り、被害の拡大防止と災害の復旧に寄与していくものです。併せて、具体的な対応基準を定めた「あきる野市議会災害時対応マニュアル」も作成しました。

あきる野市議会災害対策支援本部の考え方

震度5強以上の地震のほか、大規模な災害が必要があるときなど。

